

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2023年10月19日(木)15:30~17:00

懇談会

1. 挨拶

— 岸上 伸啓 (副館長)—

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

3. 「ミンパク オッタ カミノミ (みんなくでのカミノミ)」

[詳しくはこちら](#)

本館が所蔵する資料の安全な保管と後世への確実な伝承のため、祈りの儀式(カミノミ)をおこないます。当日は、公益社団法人北海道アイヌ協会の各地域の会員がカミノミとあわせて、アイヌ古式舞踊の演舞を実施します。どなたでもお越しいただけます。

日時：2023年11月30日(木)10:30~(予定)
会場：国立民族学博物館 本館前庭、1階エントランスホール
(雨天時は、儀式はテントを用いて、
演舞は1階エントランスホールにて実施)
参加費：無料



2022年のカミノミのようす

— 齋藤 玲子(人類文明誌研究部 准教授)—

4. 公開フォーラム「世界の博物館」

[詳しくはこちら](#)

本館は、独立行政法人国際協力機構(JICA)から委託を受け、世界各地の博物館専門家へ研修を実施しています。今年度の参加者は、アルバニア、イラク、エクアドル、エジプト、パプアニューギニア、ペルー、ザンビアの7カ国・地域から、10名を予定しています。

この機会に、これらの国・地域の博物館事情に触れ、あわせて博物館の可能性を考えることを目的に、公開フォーラムを開催いたします。

日程：2023年11月3日(金・祝)13時~16時15分
会場：国立民族学博物館 本館第5セミナー室(2F)
主催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立民族学博物館/
独立行政法人 国際協力機構
定員：70名(要事前申込み/先着順)
参加費：無料

※定員に達したため申込受付は終了しました



— 川瀬 慈 (学術資源研究開発センター 准教授)—

5. 公開講演会「依存するヒト—民族・国家・嗜好品」

[詳しくはこちら](#)

人間誰しも何かに依存しますが、マイノリティの依存は特別視されがちです。本講演会では、依存症から国家とマイノリティの関係に迫ります。

日 程：2023年11月10日（金）18時30分～20時40分（17時30分開場）

会 場：日経ホール（東京）

趣旨説明：野林厚志（本館 教授）

講 演：松本俊彦（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター・
精神保健研究所薬物依存研究部・部長／薬物依存症センター・
センター長）、平野智佳子（本館 助教）

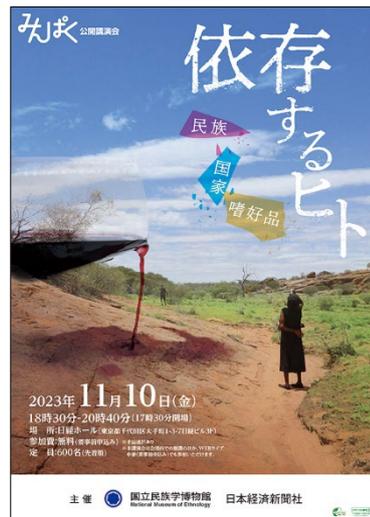
パネルディスカッション：松本俊彦、平野智佳子、野林厚志

主 催：国立民族学博物館／日本経済新聞社

定 員：600名（要事前申込み／先着順）

参加費：無料

※館外での開催となります。オンライン（ライブ配信）あり



— 野林 厚志（学術資源研究開発センター 教授） —

6. 本館展示「展示場におけるモビリティの一般体験走行」

[詳しくはこちら](#)

視覚障害者、高齢者等の歩行困難者はもちろん、健常者であっても歩き疲れた方など、どなたでも快適に展示を観覧できるシステムの実用化に向けて、一般の方を対象に、展示場での自動運転モビリティによる試験走行をおこないます。



— 日高 真吾（学術資源研究開発センター 教授） —

7. 展示解説 企画展「カナダ北西海岸先住民のアート——スクリーン版画の世界」

[詳しくはこちら](#)

現在開催中の企画展の見どころを展示場にて解説します。

（ZOOMでのライブ配信も予定）

会 期：2023年12月12日（火）まで

会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場

観覧料：一般 580円（490円）、

大学生 250円（200円）、高校生以下 無料

※（ ）は20名以上の団体料金／

リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます



スクリーン版画「貝の中にヒトを見つけるワタリガラス（Raven Finds Mankind in a Clamshell）」
民族：ハイダ（Haida）フリーダ・ディージング
（Freda Diesing）作 1980年制作

— 岸上 伸啓（学術資源研究開発センター 教授、副館長） —

※その他の配布資料 外国人研究受入リスト（資料5）、外来研究員受入一覧（資料6）



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp